



学校給食の現状について調査 安全・安心な給食の提供を

委員長 島田 榮一 委員 月田 均
副委員長 三友美恵子 柳沢浩一
宇津木治宣

所管事務調査日：平成29年6月13日



実際に給食を試食



栄養バランスのとれた給食



1日約3400食を調理

●給食センターの概要

給食センターは、小学校5校、中学校2校、幼稚園2園、福祉施設3カ所に、一日約3400食の給食を提供している。なお調理や配送業務等については、現在(株)東洋食品に委託している。

●地場産野菜の利用状況

食材は食の安全の観点から、可能な限り地場産野菜を使用している。玉村産の割合は約20%で、契約農家を増やす取り組みを実施している。

●給食費の現状

平成27年度の県内の学校給食費の比較では、玉村町は小学校で月額3550円、中学校で4125円、県平均は小学校が3917円、中学校が4626円であった。

玉村町では今年度から、小中学生の給食費の一部免除(本来負担分の4分の1免除)を実施している。学校給食費の収納率は99・25%と高い状況である。

まとめ

給食センターの現状について調査し給食の試食を行った。
給食は味・バランスともに良く栄養にも配慮されており、特に伝統である瓶牛乳はおいしく感じた。
玉村町の給食費は町の努力もあり県内では比較的安価であるが、今後も地場産野菜の活用を推進し、安さだけでなく、安全・安心な給食の提供に努められたい。
給食は子どもたちの成長にとって非常に重要であることから、今後もしっかりと給食事業に期待する。